

大阪狭山市 公共施設等総合管理計画

概要版



大阪狭山市公共施設等総合管理計画 概要版 平成 28 年(2016 年)3 月策定、令和 4 年(2022 年)3 月改定
 大阪狭山市 総務部 行財政マネジメント室 〒589-8501 大阪府大阪狭山市狭山 1-2384-1

今、公共施設の何が問題なのでしょうか？

本市では、全国の自治体と同様、高度経済成長期における急激な人口増加や市民生活の向上に対応するために、小中学校、市民文化施設などの公共施設を整備してきました。

109 施設・延床面積 12.7 万㎡

市が保有する公共施設は 109 施設(延床面積約 12.7 万㎡)で、市民一人あたり 2.17 ㎡となります。

学校教育系施設が全体の 52%

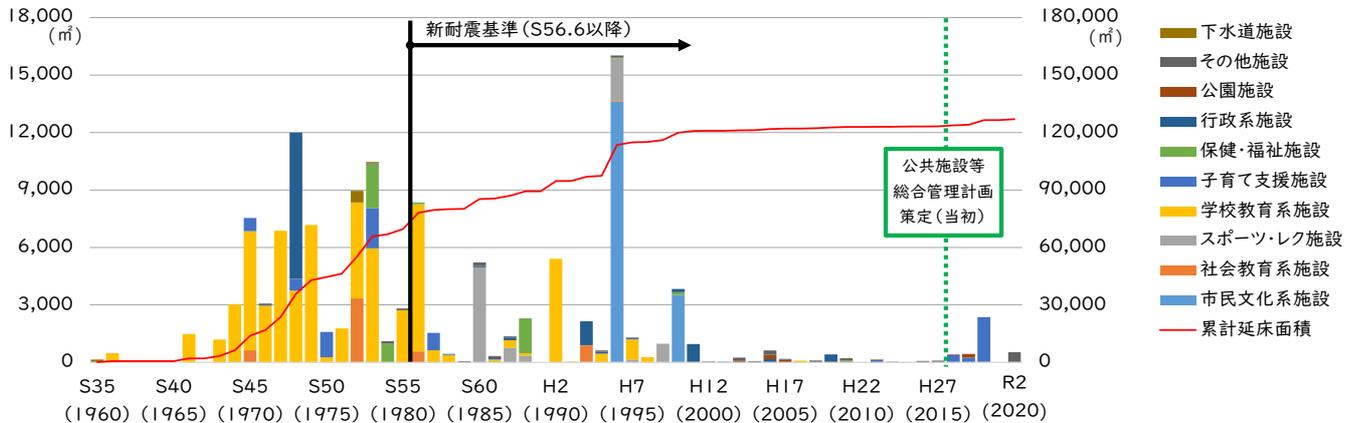
延床面積では、学校教育系施設が全体の約 52%(約 6.6 万㎡)を占めています。

築 31 年以上は全体の 75%

築 31 年以上を経過する施設は全体の約 75%で、今後、施設の老朽化が進み、修繕や維持管理費がますます増加していくものと予想されます。

今後、多額の改修・更新費用が必要

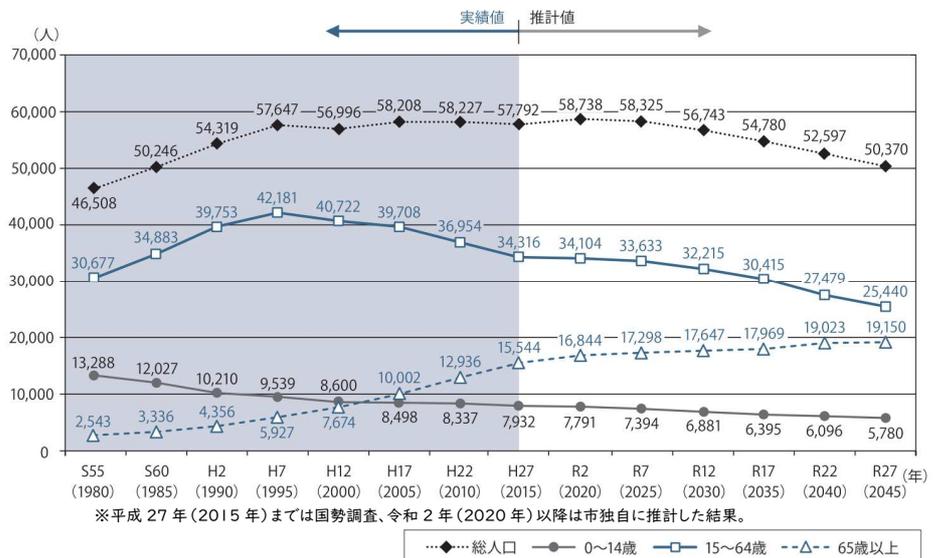
今後、施設の多くが大規模改修・更新の時期を迎えるため、すべての公共施設を維持していくには、財政面で大きな負担になってきます。



将来的な人口推移は少子高齢化がさらに進行

全国的に人口減少時代に入っており、本市においても今後、少子高齢化が進み、人口構成が変化していくことが予想されます。

本市の人口は、平成 7 年(1995 年)以降、概ね横ばいが続いていましたが、今後緩やかに減少に転じ、令和 27 年(2045 年)には 50,370 人になると予想されています。



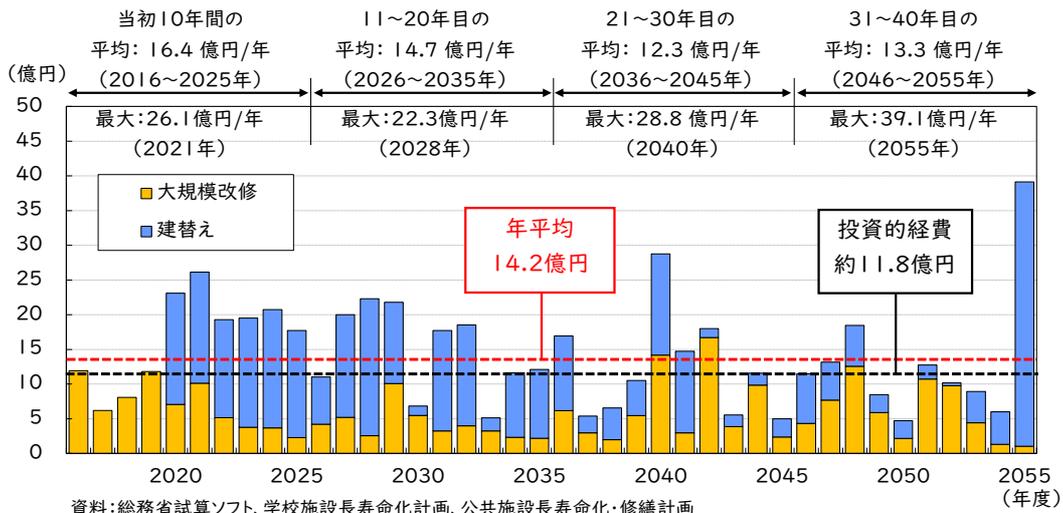
※平成 27 年(2015 年)までは国勢調査、令和 2 年(2020 年)以降は市独自に推計した結果。

公共施設等の現況、将来の見通し及び課題

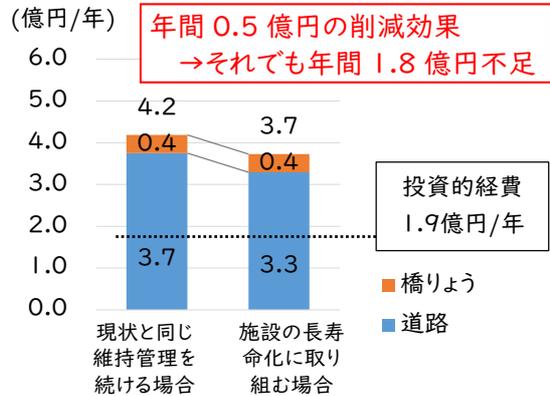
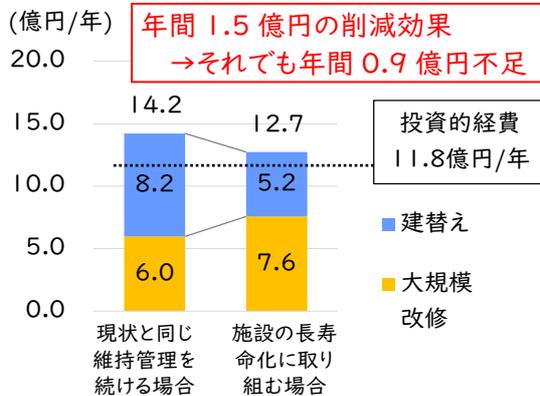
長寿命化の取組みを進めた場合、公共施設の更新費用等は現状の 1.1 倍、インフラ施設は 1.9 倍

公共施設をすべて現状のまま維持した場合、今後 40 年間の修繕・改修・更新費用は年平均約 14.2 億円と見込まれ、過去 10 年間の公共施設への投資的経費の年平均額（約 11.8 億円）を上回っている状況です。また、インフラ資産（道路・橋りょう）についても同様に、すべて現状のまま維持した場合には年平均 4.2 億円が必要と見込まれ、投資的経費の年平均額（約 1.9 億円）を上回っている状況です。

今後、予防保全による長寿命化の取組みを進めることにより、公共施設では年平均約 1.5 億円、インフラ資産（道路・橋りょう）では年平均約 0.5 億円の削減効果が見込まれますが、将来人口を踏まえた今後の財政状況などを勘案すると、それでもすべての施設を維持更新することは困難であり、施設の複合化・統廃合・用途変更など様々な方策を視野に入れながら公共施設等のあり方を検討していくことが求められています。



公共施設をすべて現状のまま維持した場合の修繕・改修・更新費用等の見込み



公共施設で長寿命化に取り組む場合の効果の見込み

インフラ資産で長寿命化に取り組む場合の効果の見込み

公共施設等の数量に対する数値目標を設定

公共施設等の更新費用を試算した上で、今後の公共施設等の数量に対する数値目標を設定しました。

数値目標は、想定される複数のシナリオのうち、「施設の長寿命化を図るとともに、将来の人口減少と人口構成の変化を想定したシナリオ」が最もふさわしいと判断し、設定しています。

なお、インフラ資産は都市の基盤でもあることから、現状の数量を維持することとしています。

数値目標

市の保有する公共施設の総延床面積を

令和 37 年度までに **約 10%削減** することが目標です。

公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針

今後の公共施設等のあり方について基本的な方針を策定

現在、本市が所有しているすべての公共施設を同じ規模で将来にわたり維持し続けていくことは、将来における人口の推移や財政状況を踏まえると非常に難しいと考えられます。

こうした状況を踏まえ、将来にわたり持続可能な行財政運営と市民サービスの維持・向上を図っていくため、公共施設等の今後のあり方についての基本方針を策定しました。

なお、本編では施設を類型別に整理し、基本方針に則った類型別の方針を策定しています。

公共施設に関する原則

(1) 計画的な保全による施設の活用

施設劣化の認識により実施される修繕や改修といった事後保全をあらため、計画的に修繕や改修を実施する予防保全に取り組むことで、修繕・改修費用の抑制・平準化に努め、施設の長寿命化を図ります。

(2) 費用対効果を考慮した更新

予防保全による施設の長寿命化や既存施設の複合化など有効活用を図り、新たなニーズに対応するとともに、費用対効果を考慮して施設の更新を行います。また、新規施設の整備時は、本計画に示す方針に則り実施します。

(3) 施設の複合化や効率的な運営の推進

学校等を含めた施設の複合化や、統廃合、用途変更等、本市に適した施設のあり方を検討し、機能を維持・向上しつつ施設総量の縮減を図るとともに、管理・運営についても効率化を図ります。

インフラ資産に関する原則

(1) 長寿命化の推進によるライフサイクルコストの縮減

計画的、効率的にインフラ資産を改修・更新し、予防保全による長寿命化を図ることで、ライフサイクルコストを縮減します。

(2) 新たなニーズへの効率的かつ効果的な対応

中長期的な視点でコスト縮減を図りつつ、安全、バリアフリー、環境、防災などの新たなニーズに対しては、効率的かつ効果的な整備・対応を推進します。

(3) PDCA サイクルによる継続的な管理と定期的な取組の見直し

インフラ資産の更新が効率的に行われているかを PDCA サイクルにより継続的に管理するとともに、定期的な取組の見直しを行います。

本計画を推進し実現していくための実施方針を設定

点検・診断の実施方針

- ・日常的・定期的な点検・診断の実施
- ・点検・診断結果のデータベース化および活用

維持管理・修繕・更新の実施方針

- ・日常的・定期的な点検・診断結果に基づく効率的・効果的な維持管理方法の検討
- ・計測機器・センサー等の新しい技術の導入
- ・PPP/PFI 等、新たな手法の検討

安全確保の実施方針

- ・利用者の安全のための修繕・更新の実施
- ・解体・撤去などの対策の検討

耐震化の実施方針

- ・公共施設等の耐震性の確保

長寿命化の実施方針

- ・定期的な点検・修繕にもとづき予防保全に努め、施設の長寿命化を推進

ユニバーサルデザイン化の実施方針

- ・誰もが安全・安心に利用できる施設整備を推進

地球環境配慮型公共施設の推進方針

- ・太陽光発電の導入、建築物における ZEB※の実現、省エネルギー改修の実施、LED 照明の導入等の取組を推進

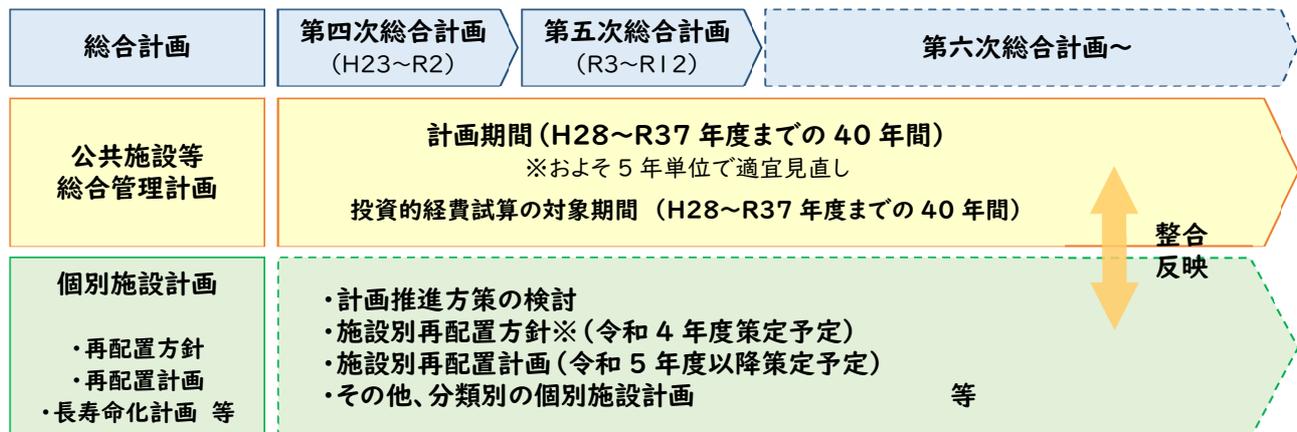
※エネルギーの生成と消費の収支がプラスマイナスゼロになる建物のこと

公共施設における統合や廃止の推進方針

- ・人口の推移や財政状況を考慮し、全庁的な観点から統廃合、複合化による再編の検討

公共施設等総合管理計画をもとに個別施設計画等を検討

今後、本計画をもとに施設の種類ごとに個別施設計画や長寿命化計画の策定を行います。



※施設別再配置方針…大阪狭山市公共施設再配置方針及び大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針を示す。

フォローアップの実施方針

- ・本計画を着実に進めていくためには、日常業務の中で公共施設マネジメントを定着させることが重要となります。
- ・PDCA サイクルの活用により、計画の進捗管理や見直しを実施します。
- ・計画については、概ね 5 年単位で適宜見直します。

